

輝く鹿児島島の農業



九州農政局鹿児島県拠点
令和5年9月

はじめに

鹿児島県は九州の南端に位置し、東西約270km、南北約600kmに広がり、薩摩、大隅の二つの半島からなる県本土と、甑島(こしきしま)、種子島、屋久島、トカラ列島、奄美群島など200有余の島々から成っています。また、温暖な気候や広大な畑地などの特性を生かし、畜産や園芸作物を中心とした農業生産が盛んです。

また、農業算出額では平成29年から全国2位に位置しており、全体の約6割を占める畜産の他、農業産出額が全国1位の茶(生葉)をはじめ、かんしょ、そらまめ、ばれいしょなども全国上位の生産量を誇り、鹿児島県は農業の一大産地として全国に名を馳せています。

さて、九州農政局鹿児島県拠点では、「農政を現場に伝える」「現場の声を汲み上げる」「現場と共に解決する」ため、県内の農林水産業関係者の皆様と意見交換を行わせていただいています。その中で、輸出やスマート農業、有機農業等に取り組む農業者や活躍する農業女子と出会い、鹿児島県農業の力強さを実感しているところです。

この「輝く鹿児島の農業」は、これから農業を始めたい方はもちろんのこと、鹿児島県内で農業に従事されている方や農業関係者の方々に、鹿児島県農業の魅力を再発見していただきたいとの想いで作成しました。

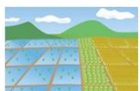
この冊子が、鹿児島県農業PRの一助となれば幸いです。

目次

| | | | |
|--------------------|----|--------------|----|
| データで見る鹿児島県の農林水産業 … | 1 | 棚田 …………… | 15 |
| みどりの食料システム戦略 …………… | 6 | 離島 …………… | 16 |
| 有機農業 …………… | 8 | ジビエ …………… | 17 |
| かごしま茶 …………… | 9 | 輸出 …………… | 18 |
| さとうきび …………… | 10 | G I …………… | 21 |
| さつまいも …………… | 11 | 6次産業化 …………… | 22 |
| 畜産 …………… | 13 | スマート農業 …………… | 23 |

データで見る鹿児島県の農林水産業

○ 農業



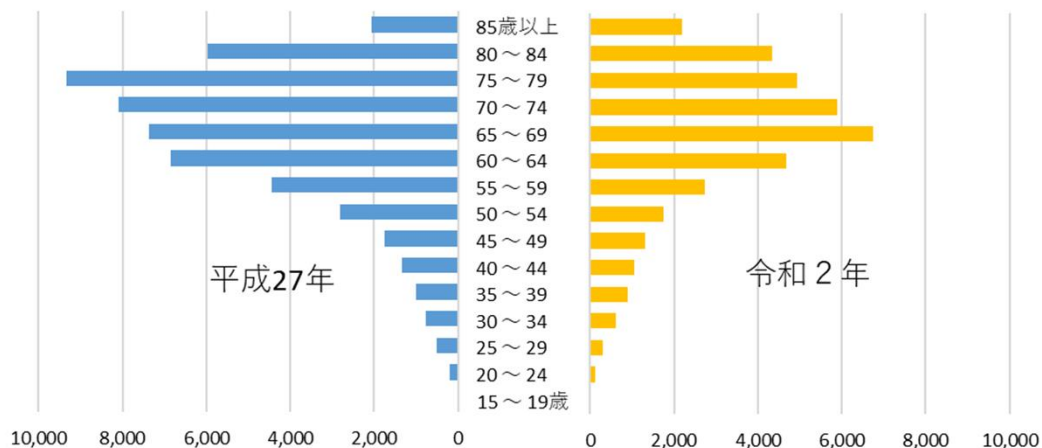
| 区分 | 鹿児島県 | | 全国順位 |
|--------|---------|-----|------|
| 耕地面積 | 111,800 | ha | 12 |
| 田 | 34,700 | ha | 28 |
| 畑 | 77,100 | ha | 2 |
| 普通畑 | 61,700 | ha | 2 |
| 樹園地 | 12,400 | ha | 7 |
| 牧草地 | 2,960 | ha | 10 |
| 農業経営体数 | 29,717 | 経営体 | 12 |
| 法人経営 | 1,338 | 経営体 | 2 |
| 総農家数 | 48,360 | 戸 | 12 |
| 販売農家 | 28,199 | 戸 | 12 |

資料：「令和4年耕地面積（7月15日現在）」

「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

○ 基幹的農業従事者数

単位：人



資料：「農林業センサス」

○ 林業



| 区分 | 鹿児島県 | | 全国順位 |
|----------|---------|-----|------|
| 林野面積 | 588,683 | ha | 12 |
| 国有林 | 150,486 | ha | 12 |
| 民有林 | 438,197 | ha | 13 |
| 林業経営体数 | 367 | 経営体 | 32 |
| 法人経営 | 105 | 経営体 | 13 |
| 林業産出額 | 110.0 | 億円 | 13 |
| 木材生産 | 97.0 | 億円 | 7 |
| 栽培きのこ類生産 | 11.5 | 億円 | 31 |

資料：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

「令和3年林業産出額」

○ 水産業

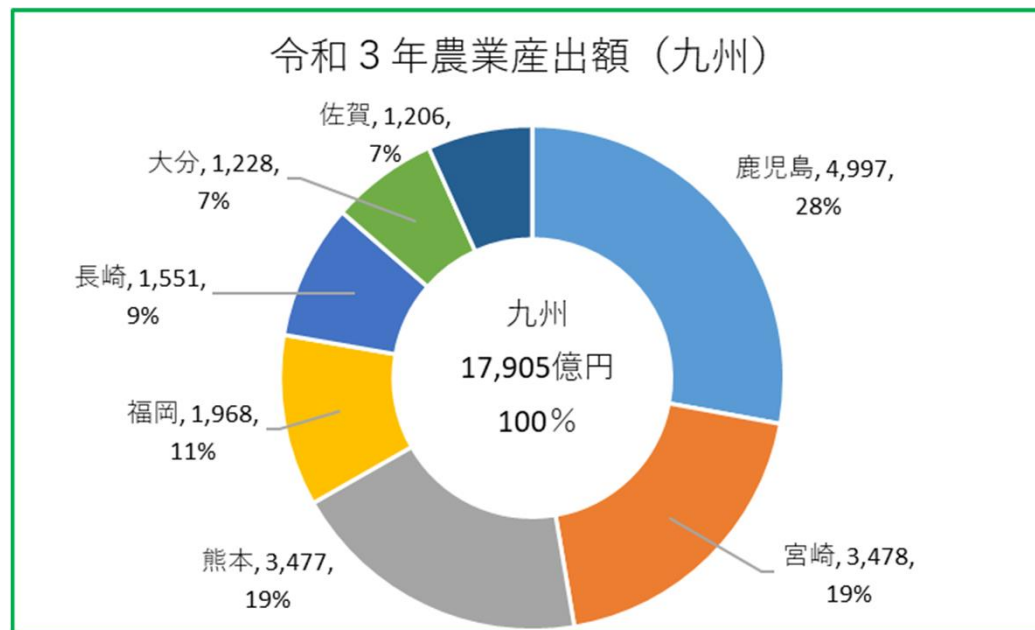
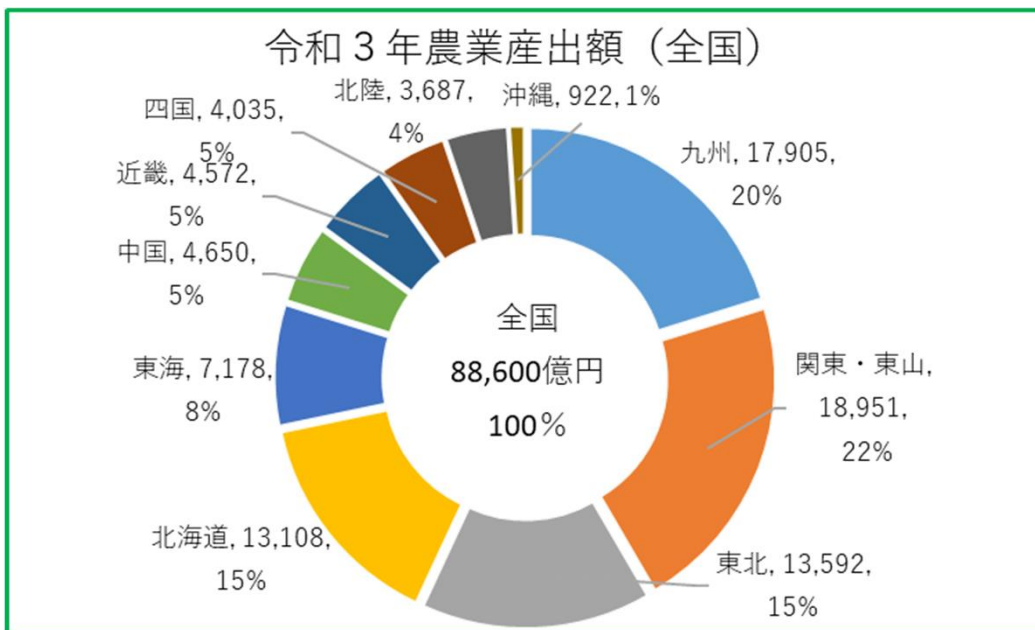


| 区分 | 鹿児島県 | | 全国順位 |
|-------------|-------|-----|------|
| 海面漁業漁船隻数 | 4,905 | 隻 | 8 |
| 動力漁船 | 3,319 | 隻 | 5 |
| 海面漁業経営体数 | 3,115 | 経営体 | 7 |
| 海面漁業就業者数 | 6,116 | 人 | 7 |
| 男 | 5,417 | 人 | 6 |
| 女 | 699 | 人 | 10 |
| 海面漁業・養殖業産出額 | 658 | 億円 | 4 |

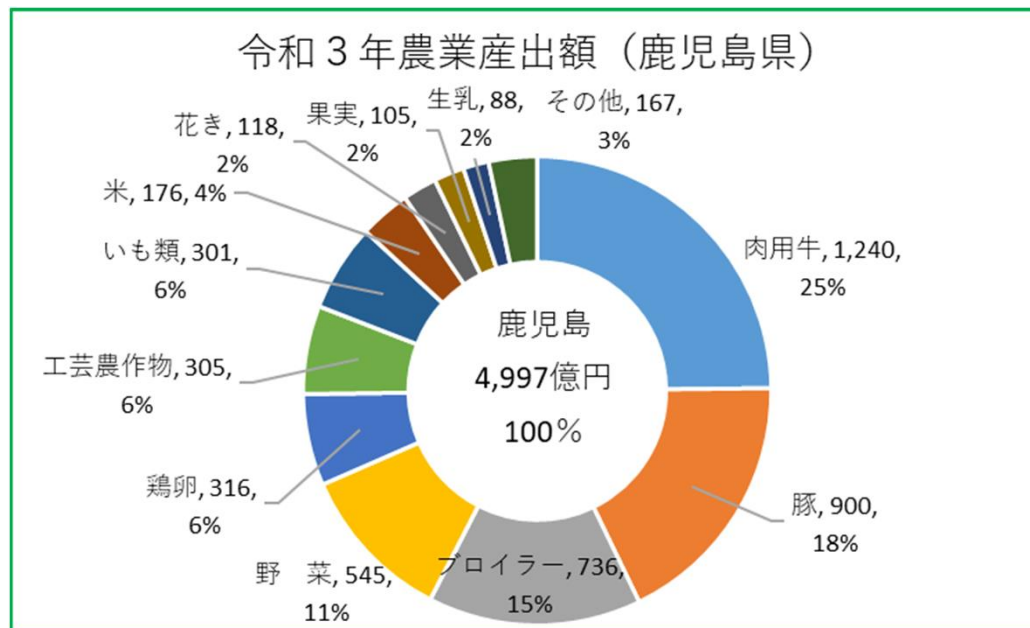
資料：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

「令和3年漁業産出額」

○ 農業産出額（全国、九州、鹿児島県）（令和3年）



注：関東・東山とは、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海とは、岐阜、静岡、愛知、三重



資料：「令和3年生産農業所得統計」

○ 鹿児島県の農業産出額と全国上位の農産物（令和3年）

農業産出額 全国2位
4,997億円（1位 北海道）



肉用牛 全国1位
1,240億円（2位 北海道）



豚 全国1位
900億円（2位 宮崎県）



茶（生葉）全国1位
152億円（2位 静岡県）



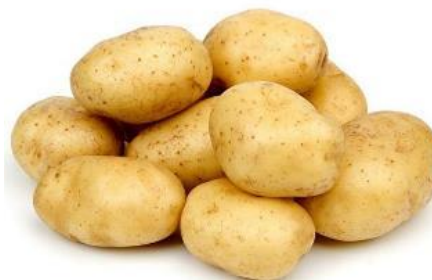
ブロイラー 全国2位
736億円（1位 宮崎県）



鶏卵 全国2位
316億円（1位 茨城県）



ばれいしょ 全国2位
184億円（1位 北海道）



さとうきび 全国2位
130億円（1位 沖縄県）



茶（荒茶）全国2位
87億円（1位 静岡県）




かんしょ 全国3位
118億円（1位 茨城県）



○ かがしまブランド

鹿児島県では、生産量がトップクラス、市場等から品質の評価が高いなど、本県を代表する農畜産物を「かがしまブランド」産品として指定しPR。（令和5年4月末現在）



あお …… 南国の広い青空
 みどり …… 大自然のもたらす恵み
 オレンジ …… 人の情熱
 あか …… 鹿児島県の象徴としての太陽

かがしまブランド

資料：鹿児島県

ばれいしょ そらまめ 実えんどう



紅甘夏 きんかん マンゴー 大将季



かがしま茶 鹿児島黒牛 かがしま黒豚 かがしま地鶏



いちご こまつな マンゴー 桜島小みかん



大将季 かがしま茶 鹿児島黒牛 かがしま黒豚 かがしま地鶏



かぼちゃ そらまめ 実えんどう さつまいも



オクラ らっきょう たんかん きんかん マンゴー



かがしま茶 鹿児島黒牛 かがしま黒豚 かがしま地鶏 米



ごぼう かがしま茶 米



鹿児島黒牛 かがしま黒豚 かがしま地鶏



ピーマン きゅうり ばれいしょ



ごぼう スプレーギク マンゴー



かがしま茶 鹿児島黒牛 かがしま黒豚 かがしま地鶏



レザーリーフファン マンゴー



たんかん ブロccoli かがしま茶 鹿児島黒牛



ばれいしょ ユリ パッションフルーツ 鹿児島黒牛

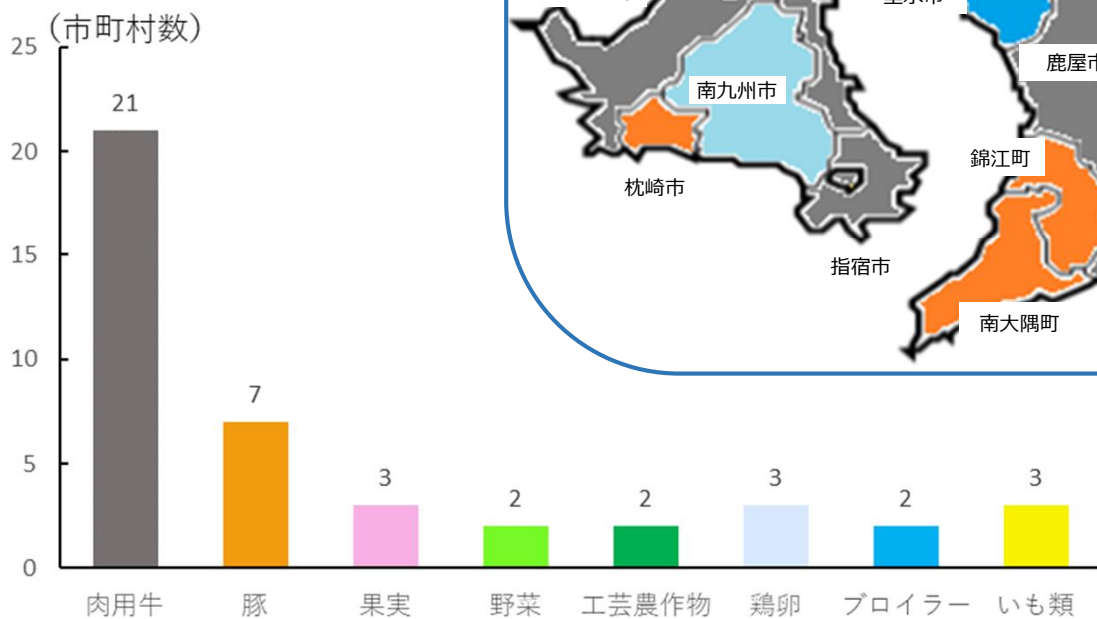
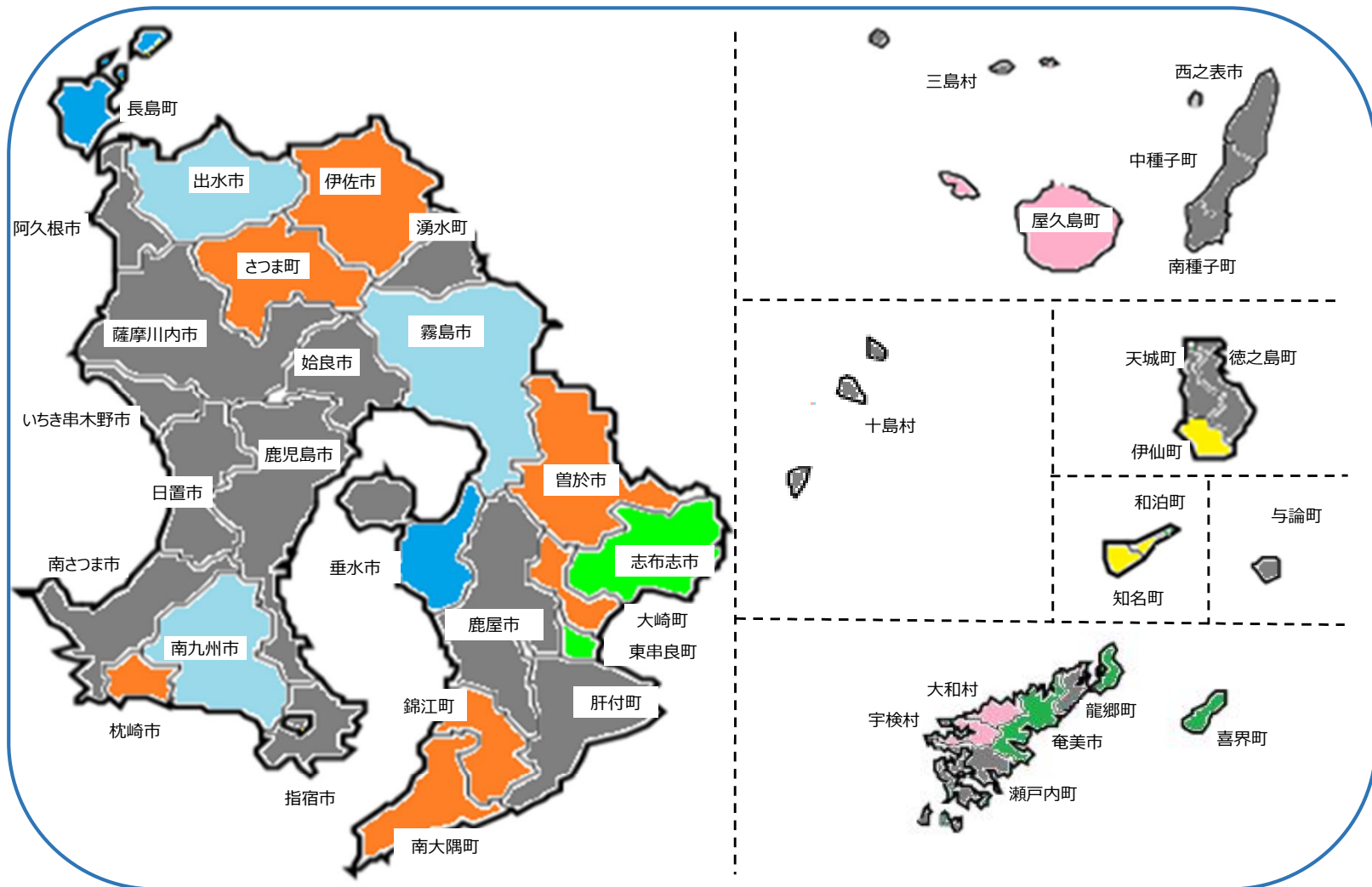



始良・伊佐

熊毛

大島

○ 鹿児島県内各市町村の農業産出額 1 位部門の分布状況



資料：「令和 3 年市町村別農業産出額（推計）」

みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

- 我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害や地球温暖化、生産者の減少や地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化への対応などの厳しい課題に直面しており、農林水産業や地域の将来を見据えた持続可能な食料システム構築が急務となります。
- このため、農林水産省は中長期的な観点から、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、令和3年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定し、令和4年6月に中間目標を決定しました。
- 令和4年4月22日に「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（みどりの食料システム法）」が成立し、5月2日に公布され、7月1日に施行されました。

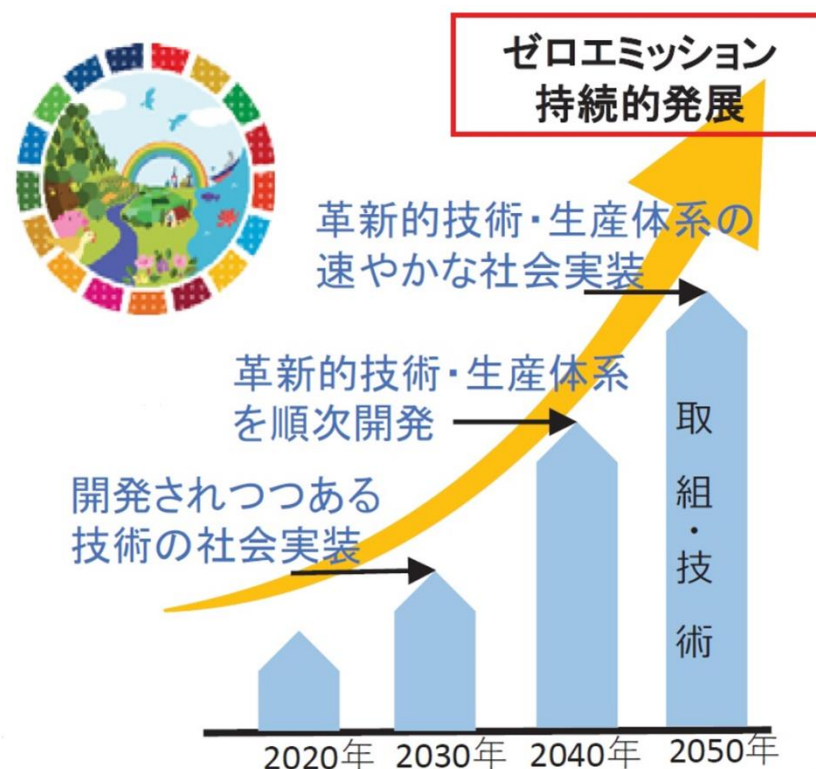
2050年までに目指す姿（2030年までの中間目標）

- 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現（10.6%削減）
- 化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減（10%低減）
- 化学肥料の使用量を30%低減（20%低減）
- 有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大（6.3万ha）
- 2030年までに持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現（100%）
- エリートツリー等を林業用苗木の9割以上に拡大（3割以上に拡大）
- ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率100%を実現（13%）等

目標の実現に向けて～政策手法のグリーン化～

- 2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現、生物多様性目標への貢献
- 国際的な議論（国連食料システムサミットやCOP26等）に貢献することにより、持続性の取組モデルを発信
- 地域の所得向上や豊かな食生活、コロナへの対応により、持続的な地域の産業基盤を構築

※ みどりの食料システム法により認定を受けると、資金調達（日本政策金融公庫による無利子・低利融資）や設備投資の初期負担軽減（税制の特例）があります。



資料：農林水産省

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

県内の生産者団体、流通関係者、消費者団体、行政などを構成員とした「みどりの食料システム戦略推進鹿児島連絡協議会」による「みどりの食料システム戦略」の推進

主な取組の概要

- R4年4月 発足式（27団体）
- R4年10月 第1回情報交換会開催
- R4年11月 「オーガニックフェスタかごしま2022」に参加しみどり戦略をPR
- R4年11月 生産と消費をつなぐ交流として「環境にやさしい農業体験（有機じゃがいも収穫・有機たまねぎ植付）」を実施
- R5年1月 第2回情報交換会開催（生産・流通・消費別の分科会形式）
- R5年5月 環境にやさしい農業の消費者理解と構成団体による独自の取組を促進するため、協議会構成団体を対象にした「環境にやさしい農業体験（有機たまねぎの収穫・有機さつまいも苗の植付）」を実施
- R5年7月 交付金事業の活用を促進し環境に配慮した栽培暦の見直しにつなげるため、県内で「みどりの食料システム戦略推進交付金（グリーンな栽培体系への転換サポート事業）」に取り組んでいる自治体や農業団体等が参加した「現地研修会」を実施



みどりの食料システム戦略推進の鹿児島県内の取組HP
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/midori.html>



情報交換会



オーガニックフェスタ



環境にやさしい農業体験

みどりの食料システム戦略を踏まえた 資材価格高騰への対応 「JA鹿児島県経済連による地域資源を活用した肥料の開発と供給」

取組の概要

JA鹿児島県経済連では、化学肥料の原料価格高騰に対応するため、畜産堆肥を活用した低コスト肥料（堆肥と化学肥料を混合したペレット肥料）を開発し、令和4年7月1日から供給を開始しました。

開発した低コスト肥料は、茶用の「ミドリッチ茶1号、ミドリッチ茶2号」、園芸用の「アグリッチ888」等で、20キロ袋で令和4年秋肥の化学肥料と比べ価格を約15%～約30%低減しました。粒状化したことで散布が容易となり、作業負担も軽減しました。

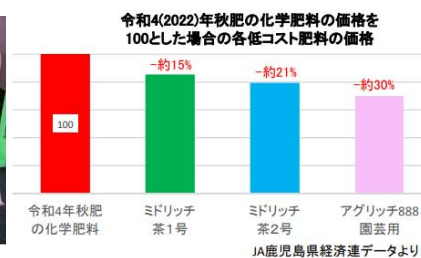
現在では、野菜、果樹、水稻、さとうきび、かんしょ用も供給しています。



混合ペレット肥料



ミドリッチ茶1号、ミドリッチ茶2号、アグリッチ888



また、JA鹿児島県経済連とJA全農みやぎは、令和5年2月、堆肥ペレットと稲わらの広域流通の実証試験を開始しました。鹿児島からはペレット状にした堆肥を宮城へ、宮城からは家畜の餌となる稲わらを鹿児島へそれぞれ広域流通します。これら取組を通じ、広域的な循環型農業の実現を目指しています。



稲わら



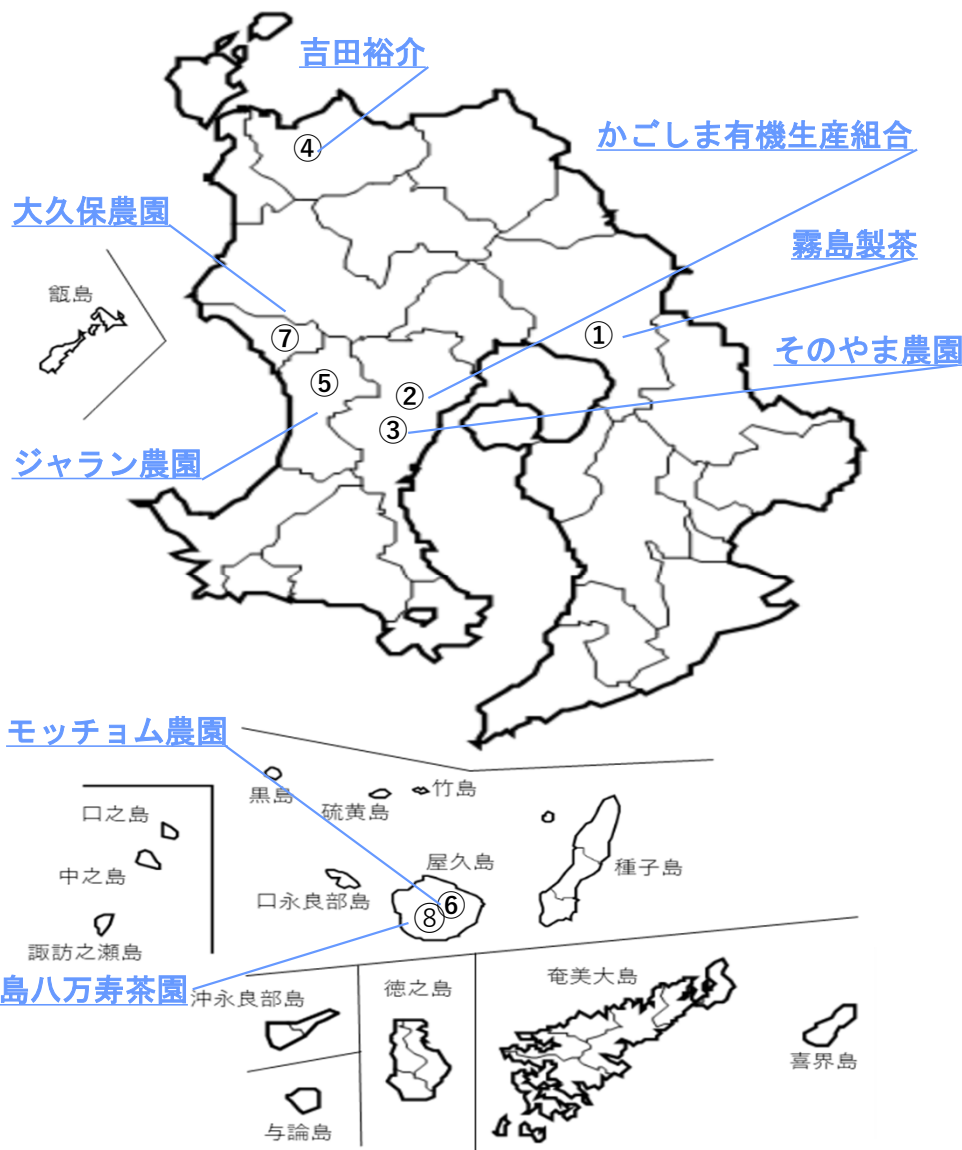
堆肥ペレット



鹿児島県内の有機農業取組事例



有機農産物には必ずこのマークが付いています！



①霧島製茶株式会社（霧島市）

栽培面積6ha、全て有機JAS認証を取得、生産から製造・加工・販売までの一貫経営の確立



②有限会社かごしま有機生産組合（鹿児島市）

栽培面積275ha（有機野菜、果樹、茶など120品目）
構成戸数162戸（有機JAS取得102戸）職員45名、パート30名



③農業生産法人そのやま農園（株）（鹿児島市）

栽培面積7ha（にんじん、ごぼう、えだまめ、ばれいしょ等）
有機農産物にこだわった農園直営レストラン等を展開



④吉田 裕介（出水市）

栽培面積約2ha（ばれいしょ、さといも、かんしょ、たまねぎ）、うち60aで有機JAS認証取得



⑤ジャラン農園（日置市）

栽培面積約2ha（にんじん、だいこん、かんしょ、さといも）
2017年に有機JAS認証取得



⑥モッチョム農園（屋久島町）

有機JAS認証圃場面積12ha（ばれいしょ、かんしょ、ウコン）
ウコンは粉末状に加工し販売（有機加工JAS取得）



⑦大久保農園（いちき串木野市）

有機JAS認証圃場面積約2ha（かんきつ類）
収穫体験実施



⑧（有）屋久島八万寿茶園（屋久島町）

経営面積6.5ha（全て有機JAS認証取得、栽培品目は茶）
2017年には、ASIAGAP（茶部門）認証取得

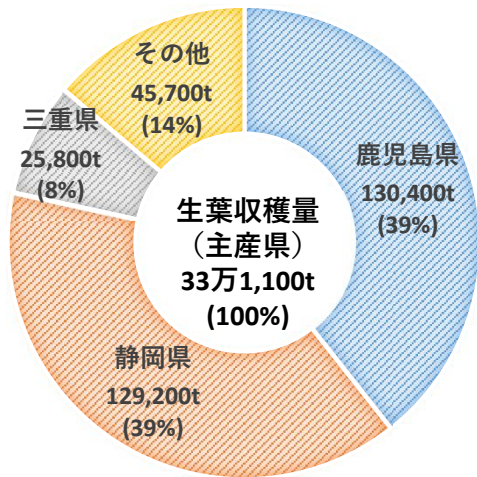
九州農政局管内の有機農業取組事例集はコチラから⇒



かごしま茶

- お茶は、鹿児島県全域で栽培され、令和4年産の生葉収穫量は33万1,100tで全国1位。
- 「やぶきた」をはじめ多様な品種を栽培し、幅広い消費者ニーズに対応した生産を実施。
- 経営の大規模化・法人化が進展するとともに、全国トップクラスの有機栽培茶面積。
- I・O・TやAI技術の導入を行い、欧米を中心に輸出を拡大。

令和4年産茶（生葉）収穫量



資料：令和4年産作物統計調査



鹿児島県内の主な産地

【北薩】
さつま茶、宮之城茶

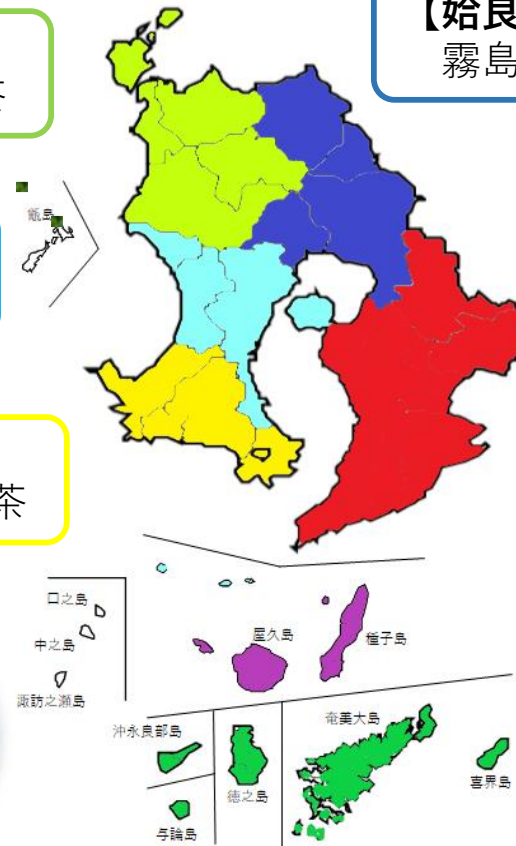
【鹿児島】
まつもと茶、ひおき茶

【南薩】
知覧茶、枕崎茶

【始良・伊佐】
霧島茶

【大隅】
財部茶・曾於茶
末吉茶
志布志茶・有明茶
かのや茶、大根占茶
田代茶

【熊毛】
種子島茶



資料：（公社）鹿児島県茶業会議所

さとうきび

○ さとうきびは、本県の南西諸島の基幹作物として生産が行なわれ、令和3年産の作付面積は11,000haで、種子島・奄美群島の耕地面積(25,100ha)に占める割合は44%。

| 区分 | 栽培面積 (ha) | 収穫面積 (ha) | 10a当たり収量 (kg) | 収穫量 (t) | 機械刈面積割合 (%) |
|-----|-----------|-----------|---------------|---------|-------------|
| 鹿児島 | 11,000 | 9,520 | 5,710 | 543,700 | 95.9 |

資料：令和3年産作物統計調査

資料：令和3年産さとうきび及びびんしゃ糖生産実績（鹿児島県）

島別の記載内容

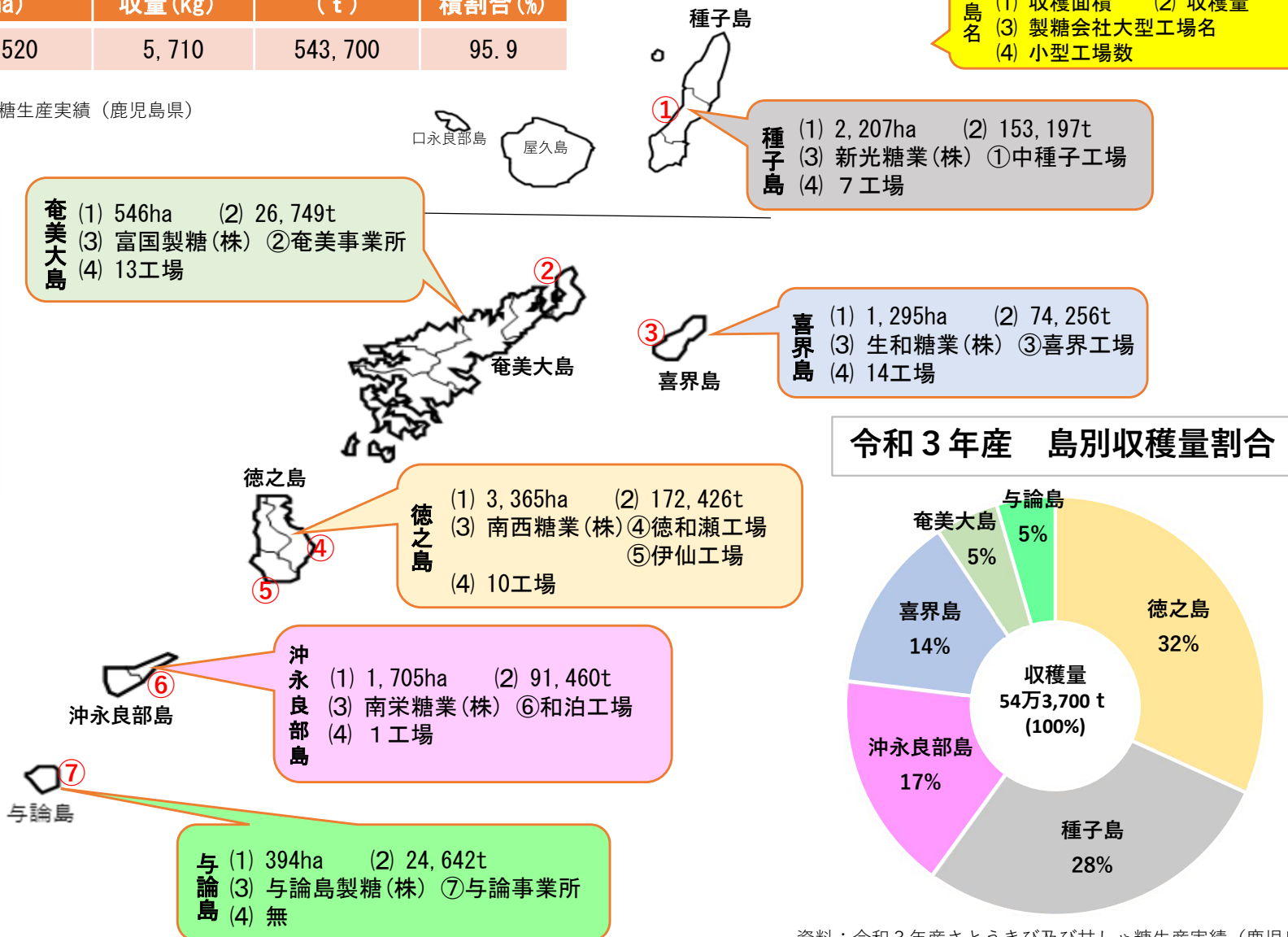
- 島名 (1) 収穫面積 (2) 収穫量
(3) 製糖会社大型工場名
(4) 小型工場数



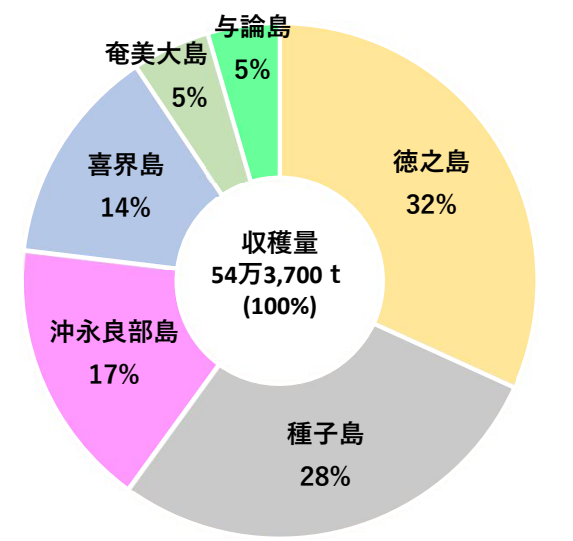
さとうきびほ場



ハーvesterによる収穫



令和3年産 島別収穫量割合



資料：令和3年産さとうきび及びびんしゃ糖生産実績（鹿児島県）

さつまいも

- さつまいもは、本県の主要な作物として生産され、生食・加工食品用、アルコール用（焼酎用）、でん粉用等に幅広く利用。
- 当県では生食・加工食品用よりも、焼酎用、でん粉用の割合が多い。
- でん粉用、焼酎用としては、「基腐病」への耐性のある「こないしん」「みちしずく」など、品種改良も進んでいる。

生食・加工食品用



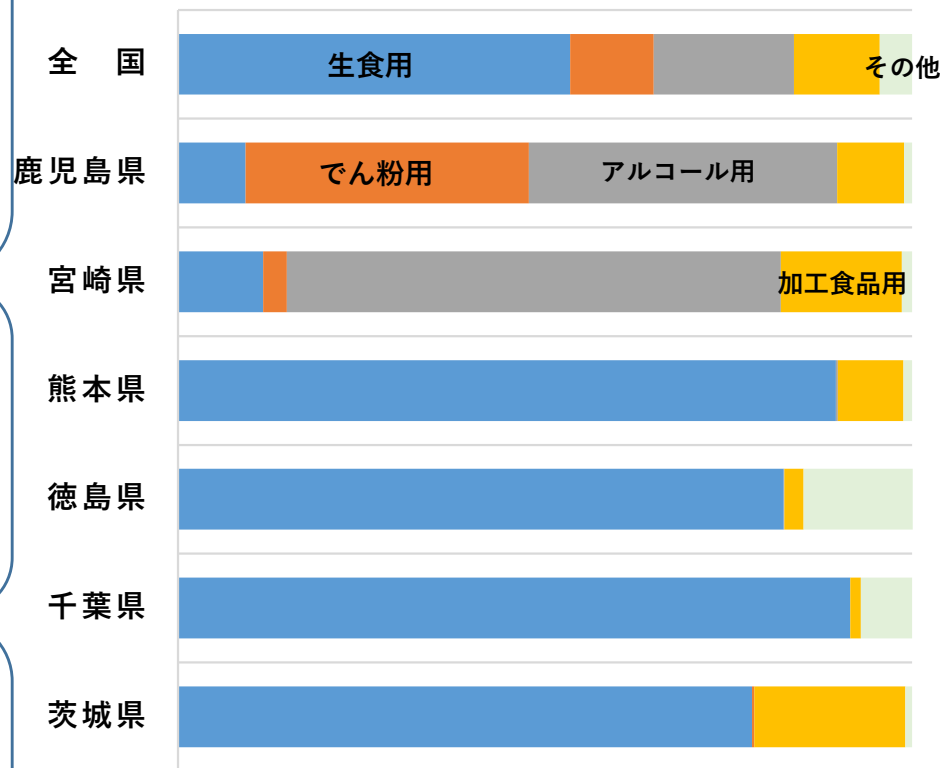
アルコール（焼酎）用



でん粉用



かんしょ消費量の全国・都道府県別用途別仕向け割合
(令和3年産・概算)



資料：農林水産省農産局地域作物課「いも・でん粉に関する資料」
 注1 全国の作付面積のおおむね8割を占めるまでの都道府県を掲載した。
 2 その他は種子用、輸出用、飼料用等である。

○ サツマイモ基腐病防除対策

もどくされびょう サツマイモ基腐病のまん延を防ぐために

基腐病とは

- ・病原菌 糸状菌(カビの一種)
- ・寄主植物 主にさつまいも(ヒルガオ科のみ)
- ・症状 地際の茎が黒変し、茎葉は黄色や紫色に変色して、次第にしおれる。茎葉が繁茂する時期には、ツルが黒色から黒褐色に変色し、地上部が枯死する。発病株の芋は、主になり首側から腐敗する。



初期発病株

農研機構生研支援センターイノベーション
創出強化研究推進事業(01020C)令和2年度版
マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」引用

まん延を防ぐ3つのポイント

①基腐病菌を持ち込まない

- ・健全な種いも、苗の確保
- ・種いも、苗の適切な消毒
- ・ほ場で使った用具等の洗浄

地域ぐるみで、
取り組もう

輪作も考えよう

②基腐病菌を増やさない

- ・ほ場の排水対策
- ・発病株の早期発見
- ・発病株の抜き取り、持ち出し
- ・初期防除の徹底

③基腐病菌を残さない

- ・残さの持ち出し
- ・耕うんによる残さの分解促進
- ・適切な土壤消毒
- ・たい肥等の有機物施用

3つのポイントを合わせて行うことが大切です。

疑わしい株を見つけたら、最寄りの病害虫防除所・JA等に相談ください。
(裏面には植え付けから栽培・収穫までの対策を記載しています。)

農林水産省
九州農政局



サツマイモ基腐病のまん延・被害を抑えるために

次作に向けて重要な対策

基腐病のまん延や次作の被害を抑えるためには、収穫後から植え付け前までに以下の対策をもちまなく行うことが重要です。

収穫後から植え付け前編

○ 基腐病菌を残さない対策

- ①ほ場の残さは、ほ場外に持ち出して適切に処分
- ②ほ場にわずかに残った残さは、気温が高いうちに耕うんにより分解を促進
- ③適正な地温(15℃以上)と水分が確保できる時期に、残さ除去後、被覆して土壤消毒を実施
- ④完熟たい肥などの有機物は、土壤消毒後、微生物を回復させるために適量を施用

○ 基腐病菌を増やさない対策

- ①ほ場の排水対策を促進するため、以下を実施
 - ・ほ場の排水機能、ほ場外排水路の点検
 - ・明きよの設置、サブソイラー等による排水改善
 - ・ほ場の均平化
- ②有機物施用による透水性改善

○ 基腐病菌を持ち込まない対策

- ①種いもや苗からのまん延を防ぐため、以下を実施
 - ・種いもは、基腐病発生ほ場からは採取しない
 - ・種いもや苗を購入する場合は、基腐病の発生がないほ場で生産されたことを確認のうえ、植え付け前に必ず消毒
 - ・自家採取苗を育成する場合は、基腐病の発生がないほ場で採取した種いもを用い、種いもを選別のうえ消毒し、土壤消毒した苗床に伏せ込む
 - ・育苗期に発病を確認したら、直ちに種いもごと抜き取り、ほ場外に持ち出して処分
 - ・採苗は、地際部から5cm以上切り上げて行い、採苗当日に苗消毒
- ②基腐病発生ほ場で使った機材・長靴などは全て洗浄

農業は、使用基準に従って適切に使用してください

詳しい技術の内容が書かれているマニュアル

農研機構生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C)
令和3年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」
https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/151859.html



○鹿児島県の畜産物は三つの黒



鹿児島黒牛

鹿児島の黒毛和種の生産量は、全国一を誇り、「鹿児島黒牛」のブランド名で販売されています。

おいしさや安心・安全にこだわり、丁寧に育てられた鹿児島黒牛は、きめ細やかなやわらかい肉質とバランスのよい霜降りが自慢です。

また、「鹿児島黒牛」は地域団体商標登録済みです。

温暖な南国の緑と太陽に生まれた鹿児島黒牛は、安全な飼料を使って一頭一頭丹精こめて育てられ、肉質のきめの細かさと美味しさで、県内外で好評です。

かごしま黒豚

約400年前に琉球から移入されたといわれ、長い歴史のなかで改良を重ね誕生した「かごしま黒豚」。鹿児島の豊かな自然の中で、さつまいもを含んだ飼料で育てられた「やわらかく、歯切れがよく、うまみがある」肉質で県内外で高い評価を得ています。



黒さつま鶏

「かごしま黒牛」、「鹿児島黒豚」は日本全国に知られる名ブランド。そんな鹿児島の”黒”を背負う、第3のブランドとして県畜産試験場が”黒”にこだわり、6年もの年月をかけて生み出したのが「黒さつま鶏」です。



第12回全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催！（令和4年10月6日～10月10日）

○「全国和牛能力共進会」とは

和牛日本一を決めるため、5年に一度、各都道府県持ち回りで開催される和牛の品評会で、全国のブランド牛を一堂に集めてその優秀性を競う。審査は雄牛、雌牛の体型を審査する「種牛の部」と肉質を審査する「肉牛の部」があり、第12回大会は鹿児島県で開催。

令和4年10月6日から10日にかけて、全国の和牛王座を決定する「第12回全国和牛能力共進会」が地元、鹿児島県で開催され、鹿児島県勢は**9部門中6部門で1席**となり、なかでも「種牛の部」で鹿児島県代表の雌牛3頭が最高賞の**内閣総理大臣賞を受賞**。



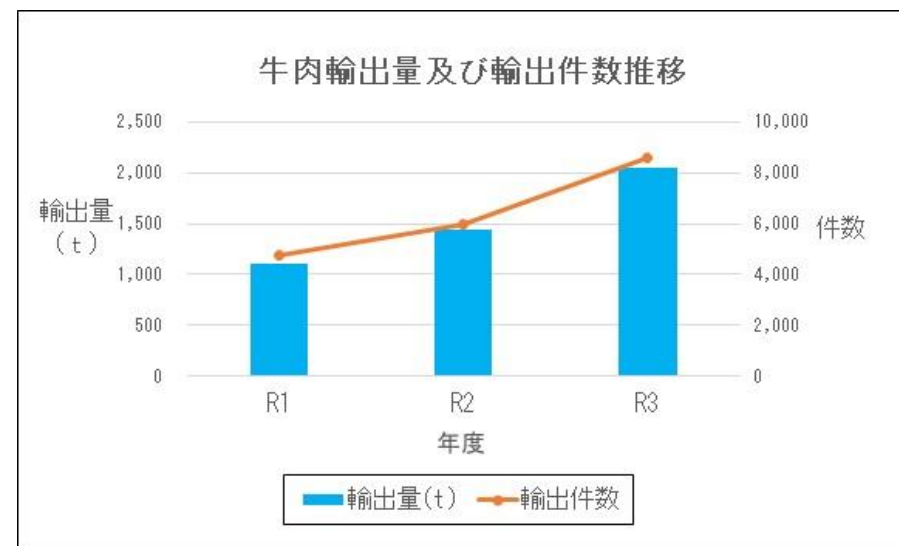
第12回全国和牛能力共進会（鹿児島）マスコットキャラクター「かごうしママ」



○牛肉輸出拡大中

鹿児島黒牛は、最近では**経済発展著しいアジアの各国でも人気**が高まっており、輸出量はアジアや米国、EU向けが年々増加。

（※輸出の際は、「KAGOSHIMA WAGYU」として、販売。）

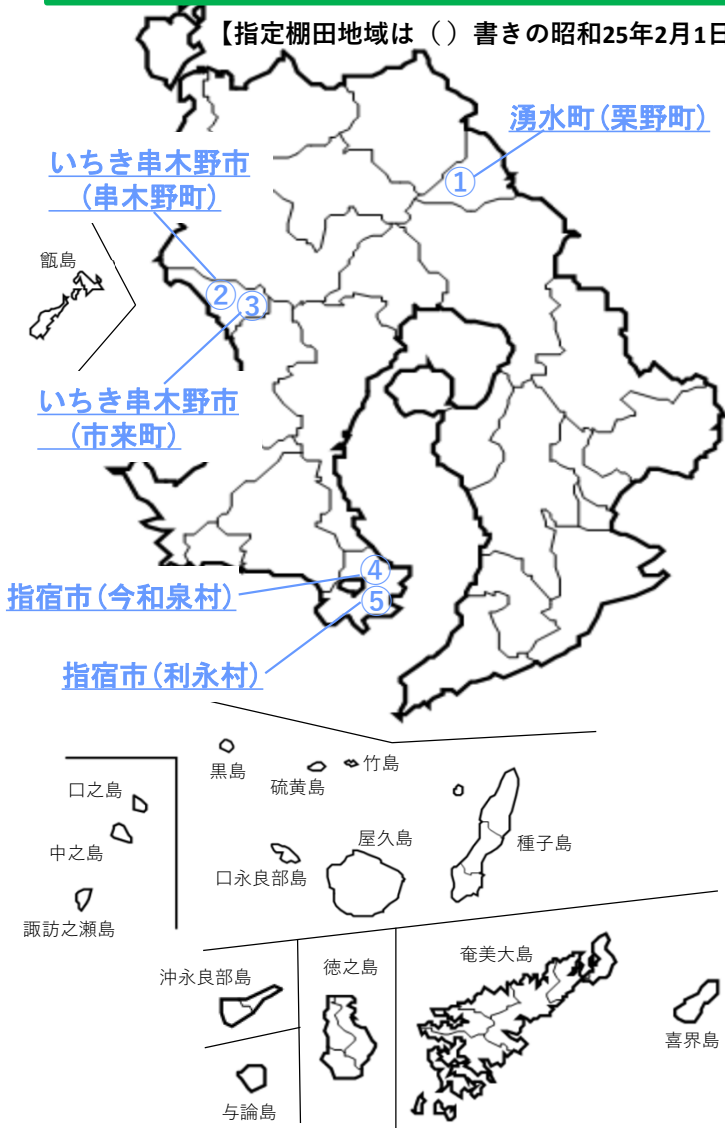


参照：鹿児島県ホームページ 輸出実績

指定棚田地域（鹿児島県内では五つの棚田地域が指定）

- 棚田地域は、農産物の供給にとどまらず、国土の保全、水源の涵養、生物の多様性の確保その他の自然環境の保全、良好な景観の形成、伝統文化の継承等の**多面にわたる機能を有する**。
- しかしながら、棚田の保全には、その地形的な条件不利性等から多大なコストを要するのが実情であり、農業の担い手の減少、高齢化の進展もあいまって、**棚田が荒廃の危機に直面**。
- このため、棚田地域振興法（令和元年8月施行）に基づき、**棚田地域の振興のための支援を実施**。

【指定棚田地域は（ ）書きの昭和25年2月1日における市町村区域】



① 栗野町：幸田の棚田ほか
(令和2年5月20日指定)



② 串木野町：おごっ段の華の棚田ほか
(令和2年5月20日指定)



③ 市来町：舟川前
(令和2年6月16日指定)



④ 今和泉村：新永吉の棚田
(令和3年6月21日指定)



⑤ 利永村：尾下の棚田
(令和3年6月21日指定)



離島の温暖な気候を活かして生産される農畜産物

○ 離島の温暖な気候を活かして、各島でいろいろな農畜産物が生産されています。



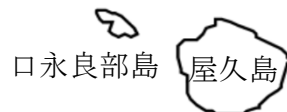
肉用牛子牛



たんかん

屋久島・口永良部島

- ・茶
- ・たんかん、ぼんかん
- ・肉用牛、豚



口永良部島 屋久島

種子島

- ・さとうきび、茶、葉たばこ
- ・かんしょ、ばれいしょ、スナップえんどう、ブロッコリー
- ・早期水稲
- ・肉用牛、生乳、豚
- ・レザーリーフファン
- ・フリージア（球根）



種子島

奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島

- ・肉用牛、鶏卵
- ・さとうきび
- ・たんかん、マンゴー、パッションフルーツ



パッションフルーツ

奄美大島



加計呂麻島

与路島

請島

徳之島

- ・肉用牛
- ・さとうきび
- ・ばれいしょ
- ・マンゴー、たんかん



ばれいしょ



徳之島



さとうきび

喜界島

喜界島

- ・さとうきび
- ・肉用牛
- ・ごま
- ・トマト、かぼちゃ、ブロッコリー
- ・マンゴー



安納いも



乾燥中のごま

与論島

- ・肉用牛
- ・さとうきび
- ・さといも、いんげん
- ・ソリダゴ

与論島

沖永良部島



沖永良部島

- ・ユリ、キク、ソリダゴ、グラジオラス、ユリ（球根）
- ・さとうきび、葉たばこ
- ・肉用牛
- ・ばれいしょ、さといも
- ・マンゴー



テッポウユリ



マンゴー

野生鳥獣による農作物への被害及び捕獲頭数から見たジビエ利用状況

【鳥獣被害状況】

○令和3年度の鹿児島県内における野生鳥獣による農作物の被害額は約3億円で、そのうち約7割がニホンジカとイノシシの被害で2.2億円程度。

【ジビエ利用状況】

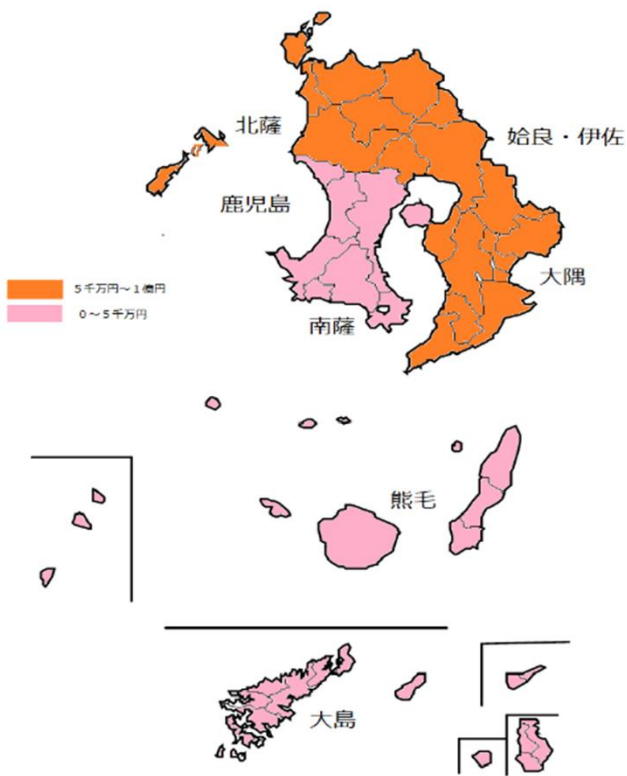
○令和3年度、鹿児島県内の食肉処理施設で解体されたシカは捕獲頭数の7.5%(1,974頭)、イノシシは捕獲頭数の1.7%(447頭)と全国と比べてもジビエ利用が少ない状況。解体されたジビエ肉は精肉・加工品として販売されており、ふるさと納税の返礼品にも活用されている。

○鹿児島県拠点では、広報誌「鹿児島県内のジビエを食べよう」を発行し、ジビエ食への理解醸成を図っています。

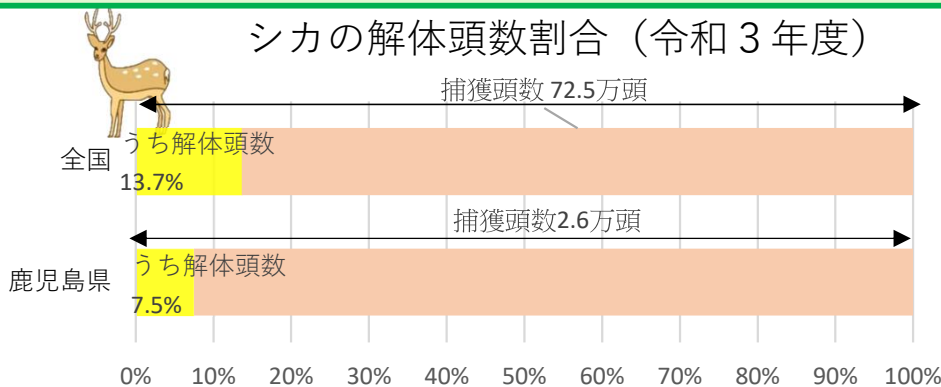
鹿児島県の野生鳥獣による農作物被害額

(単位：百万円)

| | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|-------|-------|-------|------|------|------|
| 被害額 | 387 | 376 | 526 | 397 | 333 |
| ニホンジカ | 95 | 85 | 86 | 64 | 48 |
| イノシシ | 178 | 177 | 228 | 195 | 171 |



シカの解体頭数割合 (令和3年度)

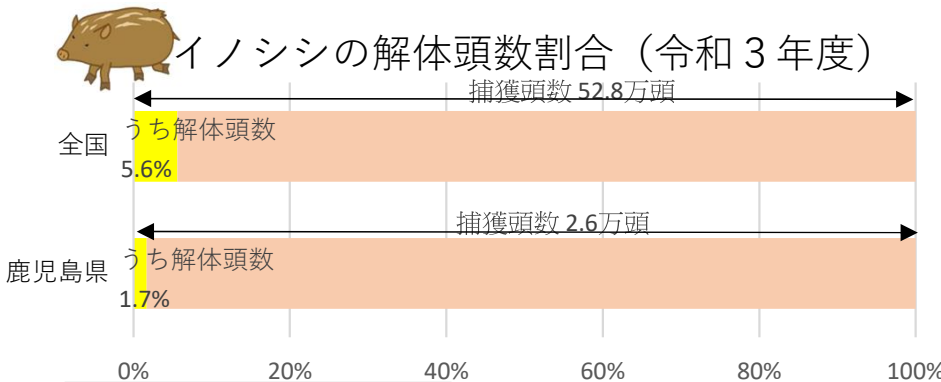


ジビエ加工品



<鹿肉ジャーキー>

イノシシの解体頭数割合 (令和3年度)



<鹿肉大和煮>

鹿児島県内のジビエを食べよう



令和5年6月
九州農政局鹿児島県拠点

出典：「鳥獣被害防止対策推進会議資料」（鹿児島県）
「捕獲数及び被害等の状況等」（環境省）
「野生鳥獣資源利用実態調査」（農林水産省）

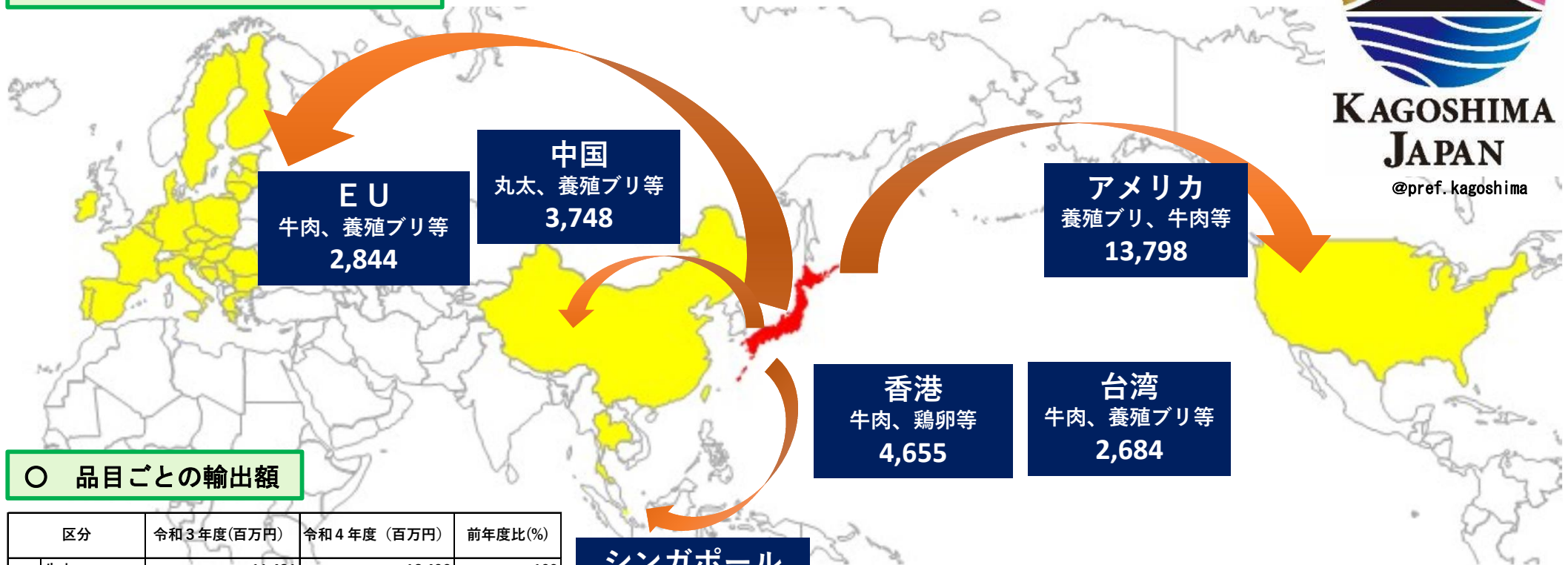
広報誌「鹿児島県内のジビエを食べよう」

鹿児島から海外へ（輸出による儲かる農業の実践）



○ 輸出先国、地域ごとの輸出額

単位：百万円



○ 品目ごとの輸出額

| 区分 | 令和3年度(百万円) | 令和4年度(百万円) | 前年度比(%) | |
|----|------------|------------|---------|-----|
| 畜産 | 牛肉 | 11,431 | 12,406 | 109 |
| | 豚肉 | 264 | 314 | 119 |
| | 鶏肉 | 287 | 269 | 94 |
| | 鶏卵 | 366 | 427 | 117 |
| | 小計 | 12,348 | 13,416 | 109 |
| 農産 | お茶 | 114 | 1,336 | 117 |
| | さつまいも | 645 | 773 | 120 |
| | その他 | 123 | 201 | 163 |
| | 小計 | 882 | 2,309 | 121 |
| 林 | 丸太など | 333 | 3,382 | 102 |
| 水産 | 養殖ブリ | 10,593 | 11,185 | 106 |
| | 養殖カンパチ | 285 | 390 | 137 |
| | その他 | 2,597 | 2,063 | 79 |
| | 小計 | 13,475 | 13,638 | 101 |
| 合計 | 31,061 | 32,745 | 105 | |



牛肉



ブリ



丸太

輸出するならGFP！

- GFPとは、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクト。
- 農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「GFPコミュニティサイト」を立ち上げ、当該サイトに登録した者を対象に、農林水産省が「輸出の可能性」を診断することにより、サポートを実施。
- 令和5年6月末現在、全国での登録数は7,876件、うち**鹿児島県は278件**。



農林水産業へ。
100億人を見据えた
1億人ではなく、

農林漁業者・食品事業者へのサービス

- 輸出診断が無料
- 輸出商社の「商品リクエスト情報」を共有
- 輸出希望商品を輸出商社に紹介
※輸出手続きを自ら行わずに速やかに輸出することも可能
- 輸出のための産地づくりを計画策定から支援
- メンバー同士の交流イベントへの参加

輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス

- 生産者・製造業者が作成する「商品シート」を共有
- 「商品リクエスト」を全国の生産者・製造業者へ発信可能
- メンバー同士の交流イベントへの参加



霧島市福山町の黒酢壺畑



霧島市の有機抹茶



指宿市の春キャベツ

登録
無料

参加を希望する方はまずはメンバー登録を。

WEB : <http://www.gfp1.maff.go.jp>

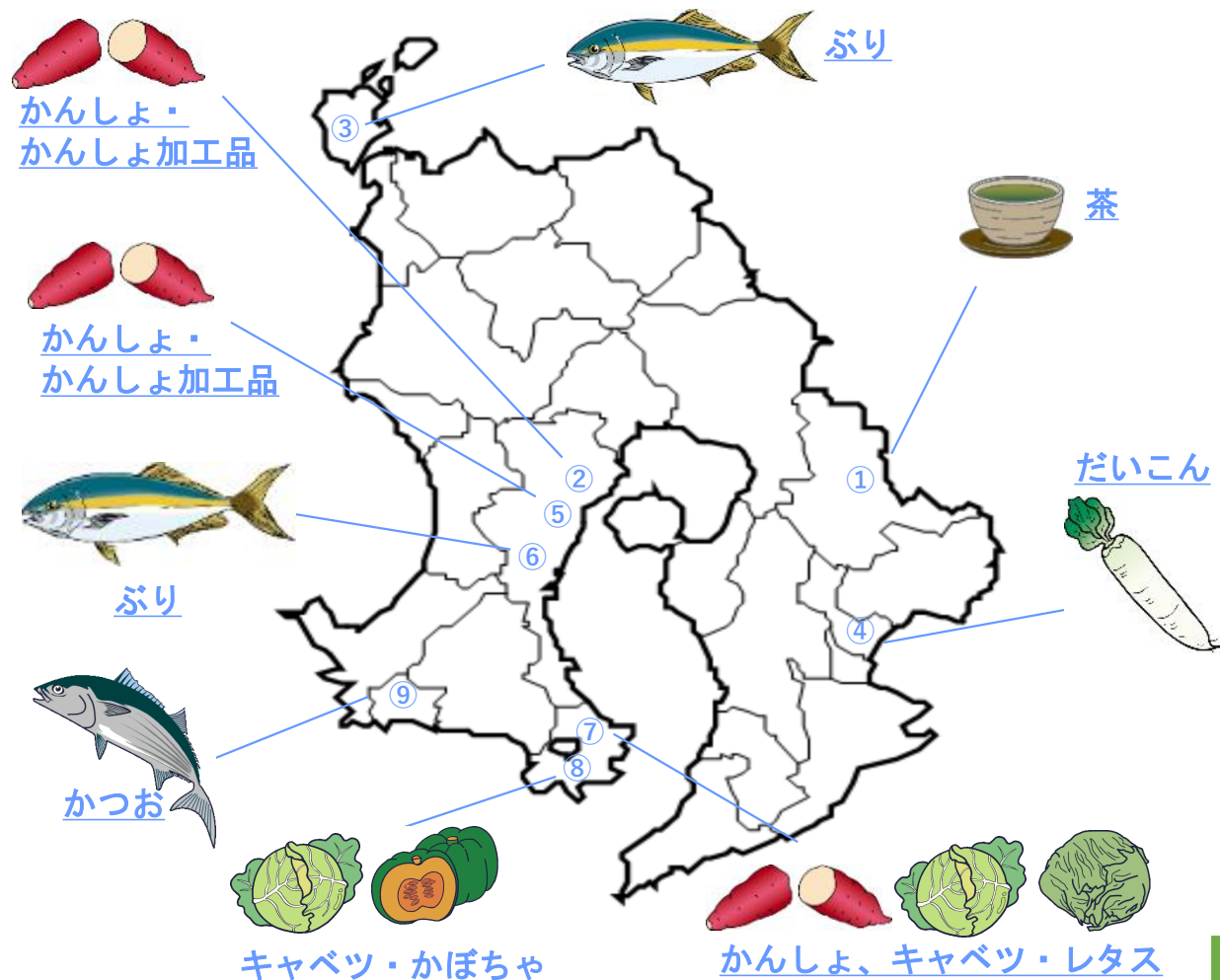
問い合わせ先：農林水産省 食料産業局 輸出促進課 輸出プロジェクト室 mail : gfp@maff.go.jp



GFPグローバル産地づくり推進事業・採択産地

- 農林水産物・食品の輸出を更に拡大していくためには、輸出先国・地域との協議により輸出可能な国や農林水産物・食品の幅を広げるとともに輸出先国の規制等に適合した農林水産物・食品の生産を拡大していくことが必要。
- 平成30年8月31日、国はGFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）を立ち上げ、意欲ある農林漁業者・食品製造業者等に輸出診断の実施、グローバル産地の形成支援を実施。
- 具体的には、有機などの海外市場のニーズ、需要に応じたロットの確保、輸出先国の求める農薬規制・衛生管理などに対応した生産・加工体制を構築する等の取組について、事業を創設し支援。
- 令和5年7月現在グローバル産地は、全国で94産地、うち鹿児島県は9産地。

| 令和4年度GFPグローバル産地（鹿児島県関係） | |
|-------------------------|---------------|
| 産地 | 品目 |
| ① 鹿児島堀口製茶(有) | 茶 |
| ② (有)かごしま有機生産組合 | かんしょ・かんしょ加工品 |
| ③ 東町漁業協同組合 | ぶり |
| ④ (有)大崎農園 | だいこん |
| ⑤ 鹿児島県経済農業協同組合連合会 | かんしょ・かんしょ加工品 |
| ⑥ 鹿児島県漁業協同組合連合会 | ぶり |
| ⑦ (有)指宿やさいの王国 | かんしょ・キャベツ・レタス |
| ⑧ 大吉農園 | キャベツ・かぼちゃ |
| ⑨ 枕崎水産加工業協同組合 | かつお |

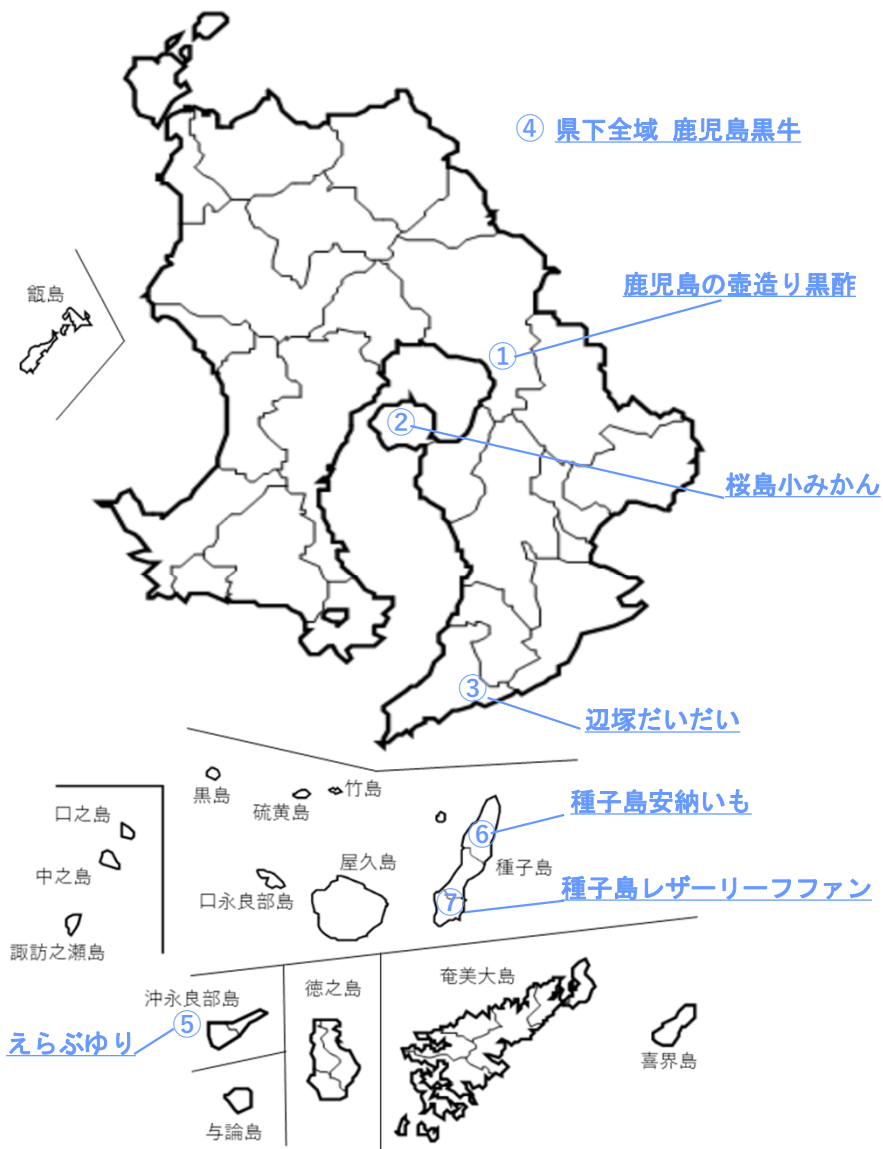


GIに登録して取引の拡大を目指す

このマーク
が目印



- **GI (Geographical Indication)** とは地理的表示の略称であり、地域の特産品の名称（地理的表示）を知的財産として登録し、保護することにより、「取引の拡大」「価格の上昇」等の効果に期待。
- GIに登録されたことで「海外における模倣品の排除」「マスコミに取り上げられ商談の機会が増えた」「生産者の意識が高まり品質が向上した」といったアンケート結果が得られた。



< 鹿児島県内の登録及び公示一覧 >

- | | | |
|---|---|--|
| ① |  | 鹿児島の壺造り黒酢（霧島市福山町・隼人町） 鹿児島県天然つぼづくり米酢協議会 |
| ② |  | 桜島小みかん（鹿児島市桜島地区） 鹿児島みらい農業協同組合 |
| ③ |  | 辺塚だいたい（肝付町・南大隅町） 鹿児島きもつき農業協同組合 |
| ④ |  | 鹿児島黒牛（鹿児島県内） 鹿児島県肉用牛振興協議会 |
| ⑤ |  | えらぶゆり（和泊町・知名町） 沖永良部花き専門農協、あまみ農協 |
| ⑥ |  | 種子島安納いも（鹿児島県種子島地区） （社）安納いもブランド推進本部 |
| ⑦ |  | 種子島レザーリーフファン（鹿児島県熊毛郡） 種子屋久農業協同組合（登録申請の事実の公示中） |

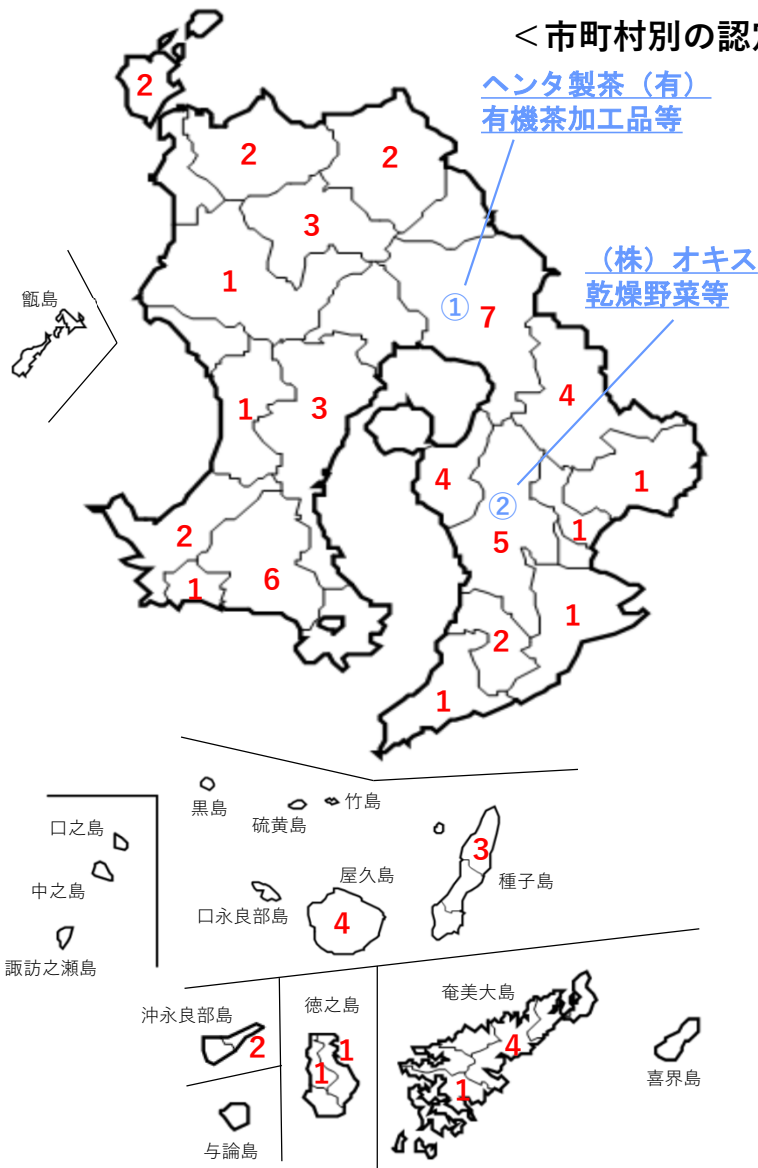
※令和5年7月20日現在の鹿児島県の状況：登録商品は6商品（全国では132商品）
登録申請の事実の公示中は1商品

6次産業化にチャレンジしている農林漁業者

- 農林漁業の6次産業化とは、**農林漁業者（1次産業）**と、2次産業（工業・製造業）・3次産業（販売業・サービス業）との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した**新たな付加価値を生み出す取組**です。
- 鹿児島県内では、6次産業化・地産地消費に基づく総合化事業計画の認定事業者数が、**65件**あります。

<市町村別の認定事業者件数>

(令和5年3月31日現在)



| 地域 | 市町村 | 総合化事業計画認定数 | うち | | |
|-------|-------|------------|-----|----|----|
| | | | 農畜産 | 林産 | 水産 |
| 鹿児島 | 鹿児島市 | 3 | 3 | | |
| | 日置市 | 1 | 1 | | |
| 南薩 | 枕崎市 | 1 | 1 | | |
| | 南さつま市 | 2 | 2 | | |
| | 南九州市 | 6 | 6 | | |
| 北薩 | 出水市 | 2 | 2 | | |
| | 薩摩川内市 | 1 | 1 | | |
| | さつま町 | 3 | 3 | | |
| | 長島町 | 2 | 1 | | 1 |
| 始良・伊佐 | 霧島市 | 7 | 7 | | |
| | 伊佐市 | 2 | 2 | | |
| 大隅 | 鹿屋市 | 5 | 5 | | |
| | 垂水市 | 4 | | | 4 |
| | 曾於市 | 4 | 4 | | |
| | 志布志市 | 1 | 1 | | |
| | 錦江町 | 2 | 1 | | 1 |
| | 南大隅町 | 1 | 1 | | |
| | 肝付町 | 1 | 1 | | |
| 熊毛 | 西之表市 | 3 | 2 | | 1 |
| | 屋久島町 | 4 | 3 | | 1 |
| 大島 | 奄美市 | 4 | 2 | | 2 |
| | 瀬戸内町 | 1 | | | 1 |
| | 徳之島町 | 1 | 1 | | |
| | 天城町 | 1 | 1 | | |
| | 和泊町 | 2 | | | 2 |
| 県計 | | 65 | 52 | 2 | 11 |

<優良事例>

① ヘンタ製茶有限会社

<取組内容>

有機栽培の茶葉を活用した粉末茶等の製造・販売と輸出。

<今後の展望>

- ・鹿児島県全体の発展に向け、他の事業者と連携を図り、「霧島茶」と鹿児島県の特産品をコラボした新商品を開発し、国内販売及び海外輸出。
- ・輸出先国の求める農業規制・衛生管理などに対応した生産・加工体制を構築し、世界の人口増加や各国の経済発展等により、グローバルな市場の獲得。

② 株式会社オキス

<取組内容>

大隅半島で生産する農産物「薩摩の恵」を用いて、乾燥野菜や雑穀加工品等の製造・販売と輸出。

<今後の展望>

- ・新たに操業した殺菌パウダー工場で、自社原料の殺菌加工や地域農家から加工受託。
- ・冷凍野菜の加工製造を行う株式会社オオスミフレッシュファクトリーでIQF設備を導入し、市場の様々なニーズに対応。

※IQF・・・食材各々をバラ化凍結する技術

資料：6次産業化の取組事例集（令和3年3月）

技術を実証、現場に実装 ～スマート農業～

- 人口減少、担い手の高齢化・減少が深刻化する中、農業の生産現場は多くの課題を抱えています。現場の課題を解決するロボット技術や、ICTを活用したスマート農業の社会実装を推進する必要があります。

「スマート農業実証プロジェクト」

ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用した「スマート農業」を実証し、スマート農業の社会実装を加速させていく事業。

スマート農業技術を実際に生産現場に導入し、技術実証を行うとともに、技術の導入による経営への効果を明らかにすることを目的に、令和元年度から開始し、これまで全国205地区（令和元年度69地区、令和2年度55地区、令和2年度補正24地区、令和3年度34地区、令和4年度23地区、令和5年度12地区を採択）において実証を行っている。



○スマート農業推進鹿児島WEB協議会

鹿児島県拠点では、県内のスマート農業・農業支援サービスの取組を推進し、多様な関係者による取組や知見について情報を共有し、連携できる場となるよう、九州農政局鹿児島県拠点ホームページ上にWEB協議会を常設し、会員から随時情報収集し提供しています。

「スマート農業推進鹿児島WEB協議会」についてはコチラから⇒



輝く鹿児島農業

令和5年9月（第5版）

発行：九州農政局鹿児島県拠点
編集：地方参事官室

〒892-0816
鹿児島市山下町13番21号 鹿児島合同庁舎4階
TEL:099-222-5840(代表)